

〔聖德太子傳曆〕上崇峻天皇元年三月天皇密召太子曰人言汝有神通之意復能相人汝相朕之體勿有形跡太子奏曰陛下玉體實有仁君之相然恐非命忽至伏請能守左右勿容姦人天皇問之何以知之太子曰赤文貫眸子爲傷害之相天皇引鏡而視之大驚太子謂左右曰陛下之相不可相博是過去之因也若崇三寶遊魂般若者万分之一庶幾免矣即命群臣左右能衛護陛下近習之間宿寤相易又

見扶桑略記

〔懷風藻〕淡海朝大友皇子二首

皇太子者淡海帝之長子也魁岸奇偉風範弘深眼中精耀顧盼煒燁唐使劉德高見而異曰此皇子風骨不似世間人實非此國之分○中

大津皇子四首

皇子者淨御原帝之長子也狀貌魁梧器宇峻遠幼年好學博覽而能屬文及壯愛武多力而能擊劍性頗放蕩不拘法度降節禮士由是人多附託時有新羅僧行心解天文卜筮詔皇子曰太子骨法不是人臣之相以此久在下位恐不全身因進逆謀迷此註誤遂圖不軌嗚呼惜哉

〔水鏡〕下仁その大臣美○惠のむすめおはしき色かたちめでたく世にならぶ人なかりき鑒真和尚

の此人千人のおとこにあひ給ふ相おはすとのたまはせしをたゞうちあるほどの人にもおはせず一二人のほどだにもいかでかと思ひしにちの大臣うちとられし日みかたのいくさ千人ことごとくにこの人をおかしてき相はおそろしき事にぞはべる

〔文德實錄〕嘉祥三年五月辛巳嗟峨太皇太后崩○中太皇太后姓橘氏諱嘉智子父清友少而沈厚

涉獵書記身長六尺二寸眉目如畫舉止甚都寶龜八年高麗國遣使修聘清友年在弱冠以家良子姿儀魁偉接對遣客高麗大使獻可大夫史都蒙見之而器之問通事舍人山於野山云彼一少年爲何人乎野山對是京洛一白面耳都蒙明於相法語野上云此人毛骨非常子孫大貴野上云請問命之長短